

平成27年5月1日
独立行政法人 家畜改良センター茨城牧場長野支場

長野支場でマメ科牧草の授粉をお手伝いする

働き者のハチが始動します！

長野支場では、我が国の気候風土に適合した優良な牧草の品種（すべて国産！）の「もと種子」を生産しています。しかし、佐久の恵まれた気候（豊富な日射量、少雨）の中であっても、また牧場職員の技術を駆使しても、マメ科牧草（中でも代表草種のアルファルファは、栄養価が高く乳牛が好んで食べることから「牧草の女王」と呼ばれています）の種子については、花粉を効率よく運ぶハチが畑にいないことなどから、わずかな量の種子しか獲れませんでした。種子がたくさん獲れないと、優良な国産種子を待っている畜産農家さんに安く販売できなくなってしまいます。

このため、マメ科牧草は、すべてハウス内で栽培し、働き者のハチの「セイヨウマルハナバチ」を放飼することなどによって、当初の何百倍～千倍もの種子を生産できるようになりました。例：10aあたり 0.5kg（～H19）→ 70kg（H23～）

このハチは働き者ですが、おとなしい性格なので滅多に人を刺しませんのでご安心ください。

記

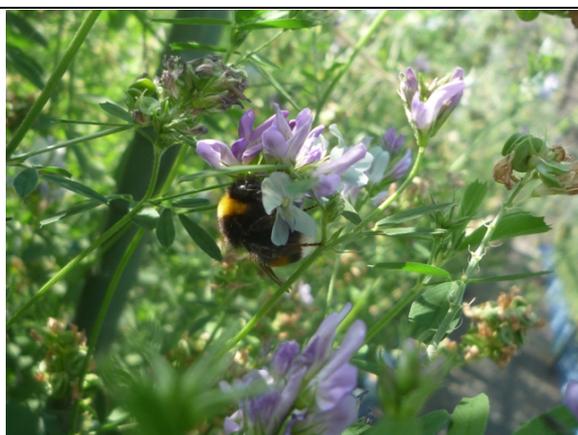
日時：平成27年5月11～22日（放飼開始日）

場所：家畜改良センター 茨城牧場長野支場 場内採種ハウス

内容：マメ科牧草採種ハウスにおける花粉媒介ハチの放飼開始

※ 放飼の日程は開花状況などに左右されますので、取材を希望される方には、日時が決まり次第、ご連絡致します。

※ 上記以降の日時でも、放飼中のハチ（下写真参照）を取材いただくことが可能です。



花粉を運ぶハチ（写真はアルファルファ）

【お問い合わせ先】

長野県佐久市新子田2029-1

独立行政法人

家畜改良センター茨城牧場長野支場

担当者：種苗業務課

（土方ひじかた 川口）

電話番号：0267-67-2501

F A X：0267-68-4743

U R L：<http://www.nlbc.go.jp/nagano/>

「日本の畜産 改良と技術で守ります」

(参考)

1 ハチ放飼予定の概要

- (1) 対象作物：アルファルファ等のマメ科牧草（2品種・2系統）
- (2) 放飼群数：ハウスあたり1群（1家族）、30～100匹程度
- (3) 栽培面積：合計 45a（ハウス19棟）

※ マメ科牧草は、ハウス内でバケツに播種して、ハチを放飼し、夜間電照栽培、自動かん水により、効率的に種子生産を行っています。

- (4) 収穫予定量：約160キロ

2 牧草種子の増殖体系について

当場で生産及び検査証明を終えた「もと種子」は、世界的に有名な牧草の採種国であるアメリカ、カナダなどへ輸出され、さらに増殖後、日本に再輸入されます。その後、種苗業者を通じて畜産農家に販売され、乳牛や肉牛などに給与される粗飼料生産に利用されています。

牧草の多くは、コメ、小麦などの自殖性作物とは異なり他殖性作物であるため、他品種と容易に交雑し品種の持つ優れた特性が失われる恐れがあります。このため当場では、OECD（経済協力開発機構）の定める牧草種子品種証明制度、およびISTA（国際種子検査協会）の定める国際種子検査規程に基づいた検査（ほ場・種子、植物体の検査）を実施しており、国際基準に適合した高品質なもと種子の増殖を行っています。

